南房総・館山地域公共交通計画新旧対照表

改正案	現 行
<p>南房総・館山地域公共交通計画</p> <p>(P64)</p> <p>7 南房総・館山地域における地域公共交通計画の基本理念・基本方針</p> <div data-bbox="376 368 958 587" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">南房総市地域公共交通計画のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幹線・支線の明確化による運行の効率化 ●分散型都市構造を支える交通結節機能強化 ●全ての交通モードの有効活用 ●住民・来訪者の二次交通の利便性確保 </div> <p>(略)</p> <p>(P65)</p> <p>(2) 公共交通の機能分担</p> <p>公共交通ネットワークの方向性は、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通（鉄道・高速バス）、館山駅から放射状に延びる地域間幹線系統（路線バス）、地域内路線（路線バス）、フィーダー交通（各市運営路線）及び補完交通（ラストワンマイル輸送）の5段階に機能分担を図る。</p> <p>交通結節点としては、鉄道駅、安房白浜駅、医療機関、公共施設、商業施設等を位置づける。また、既存公共交通ネットワークを基本としながら、これらを補完する新たな交通システムを導入し、公共交通機関相互の接続・連携により、地域住民の生活交通、更に来訪者の二次交通としても機能させ、利便性向上と効率的な運行を目指す。なお、地域間幹線系統の路線バスや新たな交通システム（チョイソコ南房総・館山・館山市街地循環バス）については、交通事業者の運営努力や自治体の運営補助だけでは、路線等の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により、運行を維持・確保する必要があり、活用していく。</p>	<p>南房総・館山地域公共交通計画</p> <p>(P64)</p> <p>7 南房総・館山地域における地域公共交通計画の基本理念・基本方針</p> <div data-bbox="1355 368 1937 587" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">南房総市地域公共交通計画のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幹線・支線の明確化による運行の効率化 ●分散型都市構造を支える交通結節機能強化 ●全ての交通モードの有効活用 ●住民・来訪者の二次交通の利便性確保 <p style="text-align: right; color: red;">※策定中</p> </div> <p>(略)</p> <p>(P65)</p> <p>(2) 公共交通の機能分担</p> <p>公共交通ネットワークの方向性は、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通（鉄道・高速バス）、館山駅から放射状に延びる地域間幹線系統（路線バス）、地域内路線（路線バス）、フィーダー交通（各市運営路線）及び補完交通（ラストワンマイル輸送）の5段階に機能分担を図る。</p> <p>交通結節点としては、鉄道駅、安房白浜駅、医療機関、公共施設、商業施設等を位置づける。また、既存公共交通ネットワークを基本としながら、これらを補完する新たな交通システムを導入し、公共交通機関相互の接続・連携により、地域住民の生活交通、更に来訪者の二次交通としても機能させ、利便性向上と効率的な運行を目指す。</p>

■地域公共交通システムの機能分担

機能分類	役割分担	対応公共交通システム
広域交通	(略)	
地域間幹線系統※1		
地域内路線※2		
フィーダー交通※2		
補完交通 (ラストワンマイル 輸送)		
交通結節点		

※①地域間幹線系統補助の活用

地域間幹線系統の市内線、南房州本線、館山鴨川線は、JR館山駅を起点とし、館山市内の主要道路を通り、南房総市富浦方面（市内線）、白浜方面（南房州本線）、丸山及び和田方面、更には鴨川市（館山鴨川線）までそれぞれ市域を跨いで運行している。通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動だけでなく、観光、ビジネス等、多様な目的での移動を担っている。起点のJR館山駅では、地域内のほとんどの交通モードと連絡し、当該地域の公共交通ネットワークの中心的役割を担っている。一方で、人口減少もあり交通事業者の運営努力や自治体の運営補助だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。

②地域内路線及びフィーダー交通について

地域内路線の平群線の再編により新たな交通システムとして運行する「チョイソコ南房総・館山」は、南房総市三芳地区を中心に買い物や通院などの地域の移動手段としての役割を担うところである。また、フィーダー交通の「館山市街地循環バス」は、館山市の中心市街地における買い物、通院等の地域の移動手段としての役割を担っている。いずれの路線もJR館山駅で、JR内房線、高速バス、地域間幹線系統への接続により広域への移動も可能となるなど、補完的役割として重要となっている。一方で、人口減少もあり交通事業者の運営努力や自治体の運営補助だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。

(略)

■地域公共交通システムの機能分担

機能分類	役割分担	対応公共交通システム
広域交通	(略)	
地域間幹線系統		
地域内路線		
フィーダー交通		
補完交通 (ラストワンマイル 輸送)		
交通結節点		

(追記)

(略)

(P68)

(略)

(2) 評価指標と目標値

計画の目標に応じた評価指標を以下の通り設定し、目標値を定めた。

■評価指標と目標値

評価指標	指標の定義	データ取得方法	現況値 (2018)	目標値 (2025)
公共交通利用者数	(略)	バス事業者または鉄道事業者保有の乗降データにより計測	(略)	(略)
年間観光客数		千葉県観光観光入込調査書のデータにより計測		
移動困難者の割合		最終年度に実施する市民アンケートにより計測		
運転免許証返納件数		館山警察署の保有するデータにより計測		
交通結節点の機能強化		事業実施による計測		
財政負担額		バス事業者が作成する補助金申請書等の資料から計測		
収支率		バス事業者が作成する補助金申請書等の資料から計測		

※地域間幹線系統においては、路線別の指標評価も行うこととする

(P67)

(略)

(2) 評価指標と目標値

計画の目標に応じた評価指標を以下の通り設定し、目標値を定めた。

■評価指標と目標値

評価指標	指標の定義	(追記)	現況値 (2018)	目標値 (2025)
公共交通利用者数	(略)		(略)	(略)
年間観光客数				
移動困難者の割合				
運転免許証返納件数				
交通結節点の機能強化				
財政負担額				
収支率				

※地域間幹線系統においては、路線別の指標評価も行うこととする

(略)

(P71)

事業1 地域間幹線系統（バス路線）の維持（市内線、南房州本線、館山鴨川線）

- ・圏域を放射状にネットワークする地域間幹線系統については、利用実態や市民移動ニーズ等を考慮しながら、見直し・維持を図る。今後も沿線住民の移動手段としてかかせない路線であることから、引き続き関係事業者や沿線自治体と調整し、合せて地域公共交通確保維持事業（地域幹線系統）を活用しながら、今後も運行を維持していく。

(略)

(P72)

事業2 地域内路線の再編および有効活用（白浜千倉館山線、豊房線）

- ・地域内路線については、利用実態や市民移動ニーズ等を考慮し、長大路線の見直しやラストワンマイルの取組等による再編を図る。なお、再編により新たな交通システム等による本格運行の際は、地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）を活用しながら、運行を維持・確保していく。

(略)

	事業	2021	2022	2023	2024	2025
実施時期	①白浜千倉館山線	協議・検証		路線見直し		
	②豊房線	協議・検証			路線見直し	

(略)

(P70)

事業1 地域間幹線系統（バス路線）の維持（市内線、南房州本線、館山鴨川線）

- ・圏域を放射状にネットワークする地域間幹線系統については、利用実態や市民移動ニーズ等を考慮し、見直し・維持を図る。

(略)

(P71)

事業2 地域内路線の再編および有効活用（白浜千倉館山線、豊房線）

- ・地域内路線については、利用実態や市民移動ニーズ等を考慮し、長大路線の見直しやラストワンマイルの取組等による再編を図る。

(略)

	事業	2021	2022	2023	2024	2025
実施時期	①白浜千倉館山線	協議・検証		路線見直し		
	②豊房線	協議・検証	路線見直し			

(P73)

事業3 地域内路線の再編及び有効活用（丸線・平群線）

- ・令和2年度に実施した実証運行の結果を踏まえ、館山駅～那古地区～三芳分庁舎～安房地域医療センター～館山駅の環状系統と、三芳分庁舎以遠各地区を巡る系統に分離することも検討する。
- ・環状系統はアクセスできる施設等の増加、三芳分庁舎以遠の系統は地区内をこまめに巡回する等のサービス向上を図り、利用者の増加と財政支出の減少を目指す。

なお、事業実施に伴う今後の運行については別紙3-1のとおりとする。

(略)

実施時期	事業	2021	2022	2023	2024	2025
	①丸線・平群線	協議・検証	路線見直し	丸線の運行維持 平群線の廃止	→	

(P76) 別紙3-1

事業実施に伴う今後の運行について

地域内路線の再編及び有効活用として「丸線及び平群線」の今後の運行形態について、令和2年度より検証内容を変えながら実証運行を行ってきた。これまでの検証において、一定数の利用者が見込める「丸線」については、現状を維持することとし、南房総市内のバス停からの利用者が特に少ない「平群線」については、予約制の乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」として1年間の実証運行を行い、令和5年10月からの本格運行に移行する。また、チョイソコ南房総・館山は、JR館山駅で、JR内房線、高速バス、地域間幹線系統への接続により広域への移動も可能となるなど、補完的役割を担っている。一方で、人口減少もあり交通事業者の運営努力や自治体の運営補助だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）により運行を確保・維持していく。

(P72)

事業3 地域内路線の再編及び有効活用（丸線・平群線）

- ・令和2年度に実施した実証運行の結果を踏まえ、館山駅～那古地区～三芳分庁舎～安房地域医療センター～館山駅の環状系統と、三芳分庁舎以遠各地区を巡る系統に分離することも検討する。
- ・環状系統はアクセスできる施設等の増加、三芳分庁舎以遠の系統は地区内をこまめに巡回する等のサービス向上を図り、利用者の増加と財政支出の減少を目指す。

(略)

実施時期	事業	2021	2022	2023	2024	2025
	①丸線・平群線	協議・検証	路線見直し	→		

(追記)

【チョイソコ南房総・館山の概要】

事前会員登録制による予約制の乗合送迎サービスで、地域内の乗降場所と目的地乗降場所を設け、運行時間内に希望する利用時間や乗降場所を往来することができる。

交通モード	乗合タクシー	運行日	月・火・木・金・土 (水・日・祝を除く)
運行形態	デマンド型交通	運行時間	8:30~15:30 (13:00~14:00を除く)
運行方式	区域運行	運賃	1回300円 (エリア内相互利用) 1回700円 (WEB予約500円) ※目的地乗降場所利用
システム	株式会社アイシン 「チョイソコ」 ※AI オンデマンド交通システム	運行車両	ワゴン車(利用定員8名)
名称	チョイソコ南房総・館山	受付方法	電話またはWEB予約
事業主体	南房総・館山地域公共交通活性化協議会	乗降場所	エリア内88ヵ所 目的地乗降場所5ヵ所
運行事業者	鏡浦自動車株式会社 (きょうほタクシー)	補助事業	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金を活用

※令和5年10月運行開始時現在

(略)

(略)

(P79)

事業5 フィーダー交通・補完交通の整備

①フィーダー交通・補完交通の整備・活用促進

- ・館山市街地循環バスの本格運行を実施し、館山市街地エリアの回遊性を高めることで、市街地の各施設や店舗等へ便利に移動できる環境を整備する。
- ・南房総市営バスの運行を維持し、幹線系統と一体で地域の移動手段を確保する。
- ・また、タクシーは自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動でき、きめ細かな対応が可能であるため、利用促進に向けて、市ホームページや「公共交通マップ」などにより、タクシーサービスの周知を図る。
- ・事業の検討・実施に当たっては、館山市地域公共交通会議及び南房総市地域公共交通活性化協議会と調整を図ることとする。なお、館山市街地循環バス（別紙5-1参照）や、現況と異なる新たな交通システムによる運行が本格運行となった場合は、地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）を活用しながら、運行を維持・確保していく。

(略)

(P78) 別紙5-1

【館山市街地循環バスの概要】

南房総・館山地域公共交通計画に事業5-①「フィーダー交通・補完交通の整備・活用促進」を施策に掲げ、当該エリアにおける公共交通の維持存続や更なる利便性向上を図るため、2市住民が集まる館山市街地エリアにおいて、既存バス路線でのアクセスが困難な市街地の商業施設等に行けるようにするための循環バスの実証運行を令和3年度より運行内容を変更しながら実施してきた。その結果、一定程度の効果が認められ、継続して運行していく必要があると判断された。今後の運行にあたり自治体による運行維持だけでは路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統）の活用により、館山市街地エリアにおける循環バス運行を行い、市街地の回遊性向上を図るとともに、地域住民にとって必要不可欠な生活交通の維持存続に繋げるものである。

(P76)

事業5 フィーダー交通・補完交通の整備

①フィーダー交通・補完交通の整備・活用促進

- ・館山市街地循環バスの本格運行を実施し、館山市街地エリアの回遊性を高めることで、市街地の各施設や店舗等へ便利に移動できる環境を整備する。
- ・南房総市営バスの運行を維持し、幹線系統と一体で地域の移動手段を確保する。
- ・また、タクシーは自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動でき、きめ細かな対応が可能であるため、利用促進に向けて、市ホームページや「公共交通マップ」などにより、タクシーサービスの周知を図る。
- ・事業の検討・実施に当たっては、館山市地域公共交通会議及び南房総市地域公共交通活性化協議会と調整を図ることとする。

(略)

(追記)

交通モード	乗合バス	運行日	月・火・水・木・金・土 (日及び元旦を除く)
運行形態	路線バス	運行時間	8:00~16:30(1~6便) ※1便あたり50分
運行方式	定時定路線運行	運賃	現金1回200円 PayPay1回160円
名称	館山市街地循環バス	運行車両	小型バス
事業主体	館山市	乗降場所	21カ所
運行事業者	日東交通株式会社	補助事業	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金を活用

※令和5年6月現在